

みずほCustomer Desk Report 2022/12/01 号 (As of 2022/11/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	138.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	138.75	1.0324	143.27	1.1944	0.6684
SYD-NY High	139.89	1.0428	144.85	1.2086	0.6801
SYD-NY Low	137.67	1.0290	143.19	1.1900	0.6671
NY 5:00 PM	138.11	1.0409	143.74	1.2058	0.6789

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,589.77	737.24	日本2年債	▲0.0200%	0.0100%
NASDAQ	11,468.00	484.22	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	4,080.11	122.48	米国2年債	4.3267%	▲0.1527%
日経平均	27,968.99	▲ 58.85	米国5年債	3.7514%	▲0.1732%
TOPIX	1,985.57	▲ 7.40	米国10年債	3.6100%	▲0.1388%
シカゴ日経先物	28,375.00	385.00	独10年債	1.9420%	0.0315%
ロンドンFT	7,573.05	61.05	英10年債	3.1610%	0.0625%
DAX	14,397.04	41.59	豪10年債	3.5660%	▲0.0210%
ハンセン指数	18,597.23	392.55	USDJPY 1M Vol	13.96%	▲0.02%
上海総合	3,151.34	1.59	USDJPY 3M Vol	12.47%	▲0.12%
NY金	1,759.90	▲ 3.80	USDJPY 6M Vol	11.77%	▲0.10%
WTI	80.55	2.35	USDJPY 1M 25RR	▲1.20%	Yen Call Over
CRB指数	279.76	4.24	EURJPY 3M Vol	11.80%	▲0.09%
ドルインデックス	105.95	▲ 0.87	EURJPY 6M Vol	11.67%	▲0.09%

東京	東京時間のドル円は138.75レベルでオープン後、実需要因や前日の米金利上昇が意識されたことで138.95まで上昇。その後は、パウエル議長講演が控えていることから138円半ば近辺まで下落するも行ってこいの展開。午後については、米金利低下に追随する形となり下落、138.45レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.45レベルでオープン。円がじり安で一時139.03円まで上昇し138.84レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0346レベルでオープン。ユーロ圏11月のインフレ率は予想を下回ったものの、エネルギー価格主導でピークアウトとなった一方で食品価格などが上昇を続けるなどまちまちな印象。ユーロも反応は限定的で1.0369レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はパウエル議長の講演を控え、狭いレンジでの推移が続き138.84レベルでNYオープン。朝方は米11月ADP雇用統計が予想を下回ったことから一旦ドル売りになるが、続いて発表の米第3四半期GDP2次速報が予想を上回り、139.45まで上昇する。その後11月シカゴPMIは予想を下回ったが中古住宅販売仮契約(前月比)が予想ほど低下しなかったことや、前回分も上方修正され、JOLT求人も予想を上回ったことから139.89まで戻す。注目のパウエル議長の講演では、利上げペースを緩める時期が早ければ12月に来る可能性を示唆し、効派な発言が期待された中、ハト派と取れるような発言を受け米金利が低下する展開にドル円も売りが一気に持ち込まれ137.67まで反落する。その後は調整からやや値を戻すものの上値は重く、138.11レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、リスクセンチメントが改善したことからじり高で推移し、1.0369レベルでNYオープン。朝方はユーロ円が上昇する中、1.0400まで戻すが、米経済指標結果を受けドルが買われる展開に1.0290まで反落する。その後は1.0320付近での推移が続くが、パウエル議長の講演内容を受けたドル売りに急速に値を戻し、一時1.0428まで戻し、1.0409レベルでクロスした。

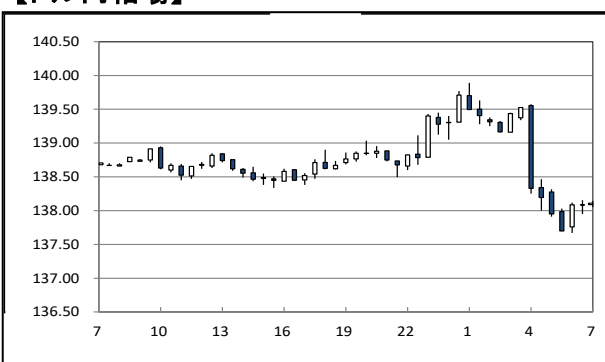
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月30日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	11月 -0.1%/10%	0.2%/10.4%
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 127k	200k
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q S 2.9%	2.8%
	22:30	米 個人消費	3Q S 1.7%	1.6%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	3Q S 4.6%	4.5%
12月1日	03:30	米 パウエルFRB議長 講演	「利上げペースを緩める時期は早ければ12月会合になる可能性」	

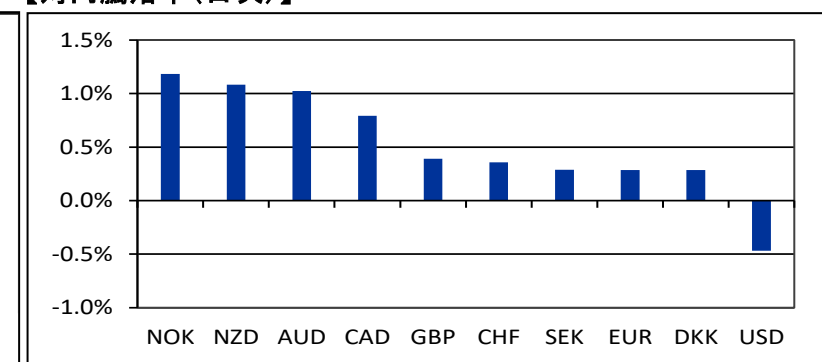
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月1日	16:00	独 小売売上高(前月比)	10月 -0.5%	1.0%
	19:00	欧 失業率	10月 6.6%	6.6%
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	10月 0.4%/6%	0.3%/6.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	26-Nov 235k	240k
12月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	10月 -0.2%	0.2%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	11月 49.7	50.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.90-138.00	1.0370-1.0500	143.00-144.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、一旦上昇するものの、パウエルFRB議長の発言を受けて一転、急落する展開となった。欧州時間までは方向感乏しい値動きだったが、発表された7-9月(第3四半期)の米GDP改定値が速報値から上方修正されたこと等を受けて米長期金利が上昇、ドル/円は一時139.89円まで上値を伸ばした。しかしパウエル議長が講演で、早ければ12月にも利上げペースを減速する可能性があることを示唆し、米10年債利回りが3.79%台から3.64%台に急低下、ドル/円も137.67円まで下押しする動きとなった。その後、同議長はインフレ抑制に向けさらなる利上げの必要性も強調したことから、ドル売りの動きは一服、138円台前半に戻して引けている。本日のドル/円は上値重い展開を予想する。パウエル議長のハト派ととれる発言の余韻が残り、ドル売りの動きが強まりやすい地合いと思われる。昨日の安値からの戻しは鈍く、また、本日発表される米11月ISM製造業景況指数や明日2日の米11月雇用統計等の経済指標が軟調な結果になると、さらに下値を模索する可能性が懸念される。日米金利差の拡大観測が後退していることもあり、ドル/円は上値重い推移となりそう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大熊・松永